

令和７年度第１回中村川水系河川整備計画懇談会
議事次第

日時：令和７年８月１９日（火） １３：３０～１７：００

場所：鱒ヶ沢町役場 ２階 委員会室

- １．開 会
- ２．あいさつ
- ３．懇談会設立の趣旨説明と議事の進行について
- ４．出席者の紹介
- ５．委嘱状の交付
- ６．議 事
 - （１）規約（案）及び傍聴規定（案）について
 - （２）委員長の選任について
 - （３）委員長あいさつ
 - （４）中村川水系河川整備計画（変更）（原案）の説明
 - （５）意見交換
 - （６）意見とりまとめ
- ７．次回懇談会の予定
- ８．閉 会

【配付資料】

- 資料－１：第１回中村川水系河川整備計画懇談会
 - ・議事次第
 - ・懇談会の設立趣旨
 - ・委員名簿
 - ・席図
- 資料－２：中村川水系河川整備基本方針（令和７年３月策定）
- 資料－３：中村川水系河川整備計画（変更）（原案）
- 資料－４：中村川水系河川整備計画 説明資料
- 資料－５：中村川河川整備計画策定までの今後の流れ
- 資料－６：現地視察会資料
- 懇談会規約（案）
- 傍聴規定（案）

懇談会の設立趣旨

青森県では、これまで、河川の整備の基本となるべき方針に関する事項を定めた「中村川水系河川整備基本方針」を平成 13 年 10 月に、中村川の今後概ね 20 年間の具体的な河川整備に関する事項を定めた「中村川水系河川整備計画」を平成 20 年 4 月に策定し、これらに基づき、河川整備（河口から 1.4km 区間の河道改修）と維持管理を実施してきました。

このような状況の中、令和 4 年 8 月 9 日には、停滞する前線の影響で津軽を中心に激しい大雨に見舞われ、この洪水により中村川では溢水が発生し、市街地において約 40ha、床上・床下あわせて 367 戸の家屋で浸水被害を受けたほか、JR 五能線で線路設備に被害を受け、同年 12 月まで一部運休が続くなど、住民生活に大きな影響を与えました。

また、近年の水災害が頻発化・激甚化し、今後も気候変動により降雨量が増加することなどが懸念されることを踏まえ、治水計画を「過去の降雨実績に基づくもの」から「気候変動の影響を考慮したもの」へ強化し、さらに、これら気候変動の影響や社会動向、技術革新の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で洪水に備える流域治水へ転換し、防災・減災を多層的に推進する社会を目指すといった提言が国から示されました。

これを受け、県では、中村川において、気候変動の影響を考慮し降雨量の増加を見込んで、長期的な河川整備の目標流量である洪水の規模（基本高水）を見直し、令和 7 年 3 月に河川整備基本方針を策定しました。

引き続き、具体的な河川整備に関する事項を定めた、中村川水系河川整備計画（変更）（案）の作成を行うため、学識経験者、関係住民など、中村川流域や各々の専門分野の知見の深い方々で構成される「中村川水系河川整備計画懇談会」において、中村川及び流域の現状と将来像を考慮しながら、中村川の整備を進める上でのご提言をいただくこととしたものです。

中村川水系河川整備計画懇談会 委員名簿

(敬称略)

No.	分野	細分野	役職	氏名
1	学識 経験者	河川工学	八戸工業大学 名誉教授	ささき みきお 佐々木 幹夫
2			青森中央学院大学 経営法学部 准教授	なかむら ともゆき 中村 智行
3		文化財	中泊町博物館 館長	さいとう じゅん 齋藤 淳
4		環境 (植物)	青森自然誌研究会 会長	さいとう のぶお 齋藤 信夫
5		関係漁業	青森県産業技術センター 内水面研究所 調査研究部 部長	おおみず まさはる 大水 理晴
6		農業水利	弘前大学 農学生命科学部 地域環境工学科 教授	まるい あつし 丸居 篤
7		水質	鰯ヶ沢町 建設水道課 上下水道班 総括主幹	おくぐち たかみつ 奥口 貴光
8	流域内の 住民代表	R4.8浸水被 害区域の町 内会長	いわやちょうないかい 岩谷町内会 会長	くどう ゆたか 工藤 豊
9			みやはまちょうないかい 宮浜町内会 会長	くにや まさはる 國谷 正春
10			しんでんちょうないかい 新田町内会 会長	くどう はるひさ 工藤 晴久
11		中上流域の 町内会長	なかむらちょうないかい 中村町内会 会長	くどう かずゆき 工藤 一幸
12			しらさわちょうないかい 白沢町内会 会長	さとう かずしげ 佐藤 和茂
13			鰯ヶ沢地域婦人団体連絡協議会 会長	くどう せつこ 工藤 せつ子
	計 13名 (内：学識経験者7名、住民代表6名)			

令和7年度 第1回 中村川水系河川整備計画懇談会 席図

令和7年8月19日（火）
鱈ヶ沢町役場 2階 委員会室

